

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	洛和福祉会	代表者	矢野 一郎	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・追加利用等の即時対応 ・自己決定の尊重 ・誰でも発言できる環境 ・家族にニーズに合わせた環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・御利用者様と共同で行う手作り食の提供 ・希望の休みが取りやすい環境
事業所名	洛和小規模多機能サービス山科小山	管理者	影山 秀隆			

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	3人	1人	1人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進会議参加者、利用者と家族が理解できる言葉を使用する	専門用語や略語を使用せずに丁寧に説明できている	改善と積極的に取り組む姿勢を感じる	運営推進会議に職員1名ずつ参加してもらい地域との関わり方を学ぶ
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者様と御家族向けに入りやすさのアンケートを実施し職員が改善に取り組む	ウェルカムボードを使用して入りやすい雰囲気作りに努めている	お客さまの駐車場が分かりにくいため表示してほしい。 事業所として入りやすい雰囲気作りを心がけては。	お客様が来られた際に駐車に迷われることのないように表示する
C. 事業所と地域のかかわり	町内会の集まりに小規模の職員が参加する	地域ケア会議に参加できている	地域と事業所との関わりが継続することでさらに深まると思う	夏のラジオ体操の場所の提供だけではなく参加したり他の関わり方も検討していく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の行事やイベントを知るために回覧板を小規模職員が回覧する	前年度より参加する意識出来ているが御利用者様の参加までとなると参加出来ていない	職員間でも回覧板に目を通してもらっては。	回覧板に目を通してもらうことで地域との関わりというものを意識する
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で地域の心配な方についての事例検討を行う	地域の心配な方の情報が確認出来ていない為実施できず	地域包括が関る前に民生委員としての役割が昨日しているか	情報の開示と民生委員との関わりを構築していく
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に小規模の職員が参加する	地域の防災訓練の日程が把握出来ていないため参加できず	地域の防災訓練を知ることが出来ない	地域行事を前以て把握することで事前に人員の配置をする

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 15 日 (17:00 ~ 17:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 影山 由井 和田 坂上 榊原 丸橋 松清

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	1 人	2 人	6 人	5 人	13 人

前回の改善計画
・利用開始までに書面での情報を元に少人数でもカンファレンスを行う ・利用開始前までに担当者を決定する
前回の改善計画に対する取組み結果
・少人数でのカンファレンスは毎回ではないが実施しているが記録には残せていない ・利用開始前に担当者を決定することなく全くできなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	7	4	1	13
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、ま ず必要としている支援ができていますか?	2	7	4		13
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで の声掛けや気遣いができていますか?	4	9			13
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、 関係づくりのための配慮をしていますか?	3	10			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	慣れるまでに不安を取り除くように声かけを意識し、職員の名札を見せながら自己紹介するなど習慣化している。興味があること・好物の情報を意識して引き出すなど、関係作りを意識して聞いている。 本人の思いを優先して支援の方針や内容を決定している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用前の準備不足があり、情報を開示するタイミングが遅い、書面を確認する時間をそれぞれの職員は持てない。新しい利用者に重点的に関りたくても、業務に追われて落ち着いて話す時間が取れていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	利用開始時と考えず、問い合わせがあった時点から職員全体で情報を共有し、受け入れの検討にも職員が参加する。 支援開始までの情報収集から全体で関る

事業所自己評価・ミーティング様式
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

実施日	平成 28 年 12 月 15 日 (17 : 30 ~18 : 00)
メンバー	影山 由井 和田 坂上 榊原 丸橋 松清

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	5人	5人	12人 (1人)

前回の改善計画	・利用者様それぞれのゴール、～したいについて写真付きで掲示して職員・本人もいつでも確認できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ゴールをいつでも確認できるように掲示することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6	6		12 (1)
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	5		12 (1)
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	3	8		12 (1)
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		4	7	1	12 (1)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・会話の中に本人の思いが聞けるように工夫し、体調などにも考慮した上で個別外出 (回転寿司など) に繋げることができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・関りやすい利用者様については「～したい」を知ることができたが、それ以外では把握できておらず、本人の目標や達成度合いについてミーティングや話し合いで共有できていない。	
・目標を利用者様と共有することを意識することが難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ライフサポートプラン①の『個人の目標 (ゴール)』をカンファレンスに参加した職員全体で共有できる、分かりやすいものにする	
・ライフサポートプラン①を連絡帳ファイルの一番前になるようにファイルする	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 15 日 (18 : 00 ~ 18 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 影山 由井 和田 坂上 榊原 丸橋 松清

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	1 人	3 人	3 人	4 人	11 (2) 人

前回の改善計画	・ライフサポートプラン②を全職員で協働し作成する
前回の改善計画に対する取組み結果	・ライフサポートプラン②まで職員全体で取り組むことが出来なかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		2	9	1	12 (1)
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9			12 (1)
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	6	1	12 (1)
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	10			12 (1)
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10			12 (1)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・申し送りやミーティングで職員それぞれが気付いたことを発言できており、本人の気持ち・変化をキャッチして共有、その都度対応を検討し、方針を立てられている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・新しい利用者が続いて登録されたため情報を把握することが難しかった。 ・ライフサポートプラン②を活用して生活の情報を整理することは、時間的にも業務量的にも難しかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ライフサポートプラン②が立案されている利用者に関しては連絡帳にファイルする。 ・ライフサポートプラン①とサービスの留意点を同時に更新する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 20 日 (17:30 ~ 18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 影山 和田 田村 榊原 柴田 松清

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	4 人	1 人	人	12 (1) 人

前回の改善計画	
送迎時など近所の方に会う時は挨拶から行う	
前回の改善計画に対する取組み結果	
挨拶は地域との関わりの中で最も重要 (最低限の礼儀) などであるため実施できている	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	4		12 (1)
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか?	1	10	1	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		7	5		12 (1)
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		5	5	2	12 (1)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時間など一対一での貴重な時間に本人の思いを聞いたりし寄りそうことが出来ている ・挨拶はよくできている ・事業所での様子のご家庭での様子を情報交換できている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりを把握していない ・民生委員や地域資源は把握できていない ・これまでの生活スタイルや人間関係をあまり理解していない職員もいる 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時に民生委員が何処にいるのかなど地域資源を探り、事業所で共有する ・これまでの生活の把握ができるよう、ライフサポートプラン②の作成者を増やす 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 20 日 (17:30 ~ 18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 影山 和田 田村 榊原 柴田 松清

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	4 人	1 人	12 (1) 人

前回の改善計画	加齢による変化や認知症による様々な変化について利用者の現状に応じて職員が学ぶ実践の振り返りを行う事で、これから小規模に求められる支援の力をつける
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様の状態・状況に応じて臨機応変サービスの提供・支援が出来ている。また変化について職員間で共有できている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	9	1		12 (1)
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	6	1		12 (1)
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	8			12 (1)
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	4	2		12 (1)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・状態、状況に応じてサービスを組み合わせている。変化への対応は柔軟に行っている。 ・多職種連携に努めている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模が行うべき支援、求められる役割について職員で考える事ができていない ・家族と本人の意向に相違がある場合、本人の意向に添えていないときがある 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能サービスのあり方について職員同士で話し合う場を持つ 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 15 日 (17:30 ~ 18:30)

6. 連携・協働

メンバー 影山 和田 田村 榊原 柴田 松清

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	人	2人	4人	4人	10 (3) 人

前回の改善計画	学区の消防訓練に参加する
前回の改善計画に対する取組み結果	学区の消防訓練には参加できなかったが地域の行事には積極的に参加する意識が高まってきている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	3	3		4	10 (3)
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	2		4	10 (3)
③ 地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	5	1	3	10 (3)
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		1	3	6	10 (3)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・区、包括、他事業所との会議に積極的に参加している ・ゴミ拾いに参加するなど、参加できる地域のイベントには参加しようとしている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が気軽に訪れるような仕掛けがない (開かれた雰囲気ではない) ・登録者以外の地域住民が訪れることが少ない 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルカムボードを玄関に設置し、入ってしやすい雰囲気を作る 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 15 日 (17:30 ~ 18:00)

7. 運営

メンバー 影山 由井 和田 坂上 榊原 丸橋 松清

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	人	人	5人	4人	9 (4) 人

前回の改善計画	イベントなど行う時はチラシや貼り紙を掲示板などに貼らしてもらう
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の方々とのイベントが行えていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	2	6	1	10 (3)
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		8	3		10 (3)
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	5	2	10 (3)
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		4	5	2	10 (3)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族、介護者からの意見は大切にできている ・意見伝達の場が設けられている ・運営方針の見直しについて検討を始めている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との結びつきが弱い ・地域の方からの意見や苦情は一般職員があまり知らない ・地域が何を求めているか知ることができていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に一般職員も参加していく 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 15 日 (17:30 ~ 18:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 影山 由井 和田 坂上 榊原 丸橋 松清

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	4 人	1 人	11 (2 人) 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・研修情報や広報誌は見やすいところに掲示する ・地域連合会の内容は掲示してちょうじゅにて連絡する
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所や玄関に掲示している ・地域連合会内容をちょうじゅに反映されていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		7	3	1	11 (2)
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	1	3	11 (2)
③	地域連絡会に参加していますか	1	3	2	4	11 (2)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7	4		11 (2)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・内部向け研修には参加できている ・他者のインシデントを自分のものとして活かしている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの自己研鑽のための研修には参加できていない ・個人レベルのスキルアップが足りない ・スキルアップの為の研への参加が少ない 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・年に 2 回職場内で研修 (勉強会) を開催する 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 12 月 15 日 (17:30 ~ 18:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 影山 由井 和田 坂上 榊原 丸橋 松清

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2 人	5 人	4 人	1 人	12 (1) 人

前回の改善計画	申し送りはフロアで行うため配慮し利用者様の個人名は利用者様には聞こえないように申し送りをする
前回の改善計画に対する取組み結果	日頃から声の大きさに対して意識することにより利用者様には聞こえないように配慮できている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	10	2			12 (1)
② 虐待は行われていない	9	3			12 (1)
③ プライバシーが守られている	3	7	2		12 (1)
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	3	8			11 (1)
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	5	5	2		12 (1)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・拘束に対する意識は高い	
・人権、プライバシーは守られている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・フロアで配慮に欠けたミーティングや会話がある	
・厳しい目でみれば個人情報の管理が甘いところがある	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・申し送り時などに利用者について話しするときは声の大きさに気をつける	